

「インパクト投資の現状と今後への期待」

社会変革推進財団（SIIF） 専務理事
青柳 光昌

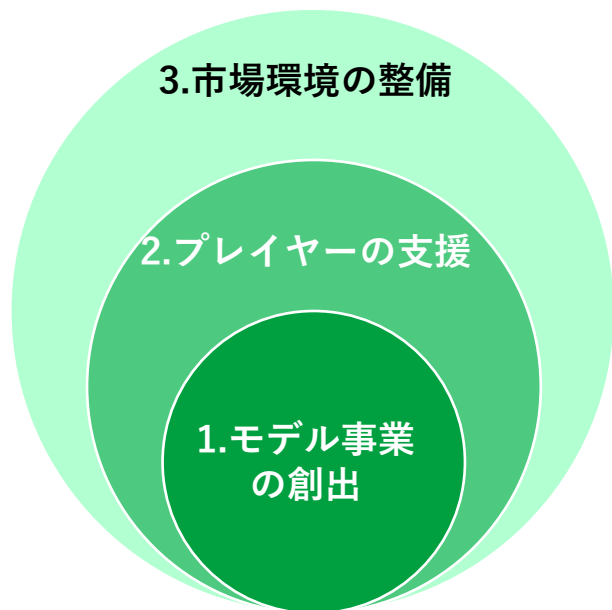
インパクト投資に関する勉強会 第1回
主催：金融庁・GSG国内諮問委員会

2020/6/18

1. SIIFのご紹介
2. インパクト投資とは
3. インパクト投資の海外動向
4. インパクト投資の国内動向
5. 社会的インパクト評価の動向
6. 本勉強会での論点の候補（SIIF私案）

1. SIIFのご紹介
2. インパクト投資とは
3. インパクト投資の海外動向
4. インパクト投資の国内動向
5. 社会的インパクト評価の動向
6. 本勉強会での論点の候補（SIIF私案）

- 2017年に日本財団の協力により設立。
- 日本におけるインパクト投資のエコシステム構築を目指して活動。



*GSGは、現在32か国が加盟するインパクト投資のグローバルな推進団体

1. インパクト投資モデル事業の創出（例）

➤ 日本初のSIB案件を組成・出資、これまで8件に出資

神戸市、八王子市のソーシャルインパクトボンド（SIB）

➤ インパクト投資ファンドの共同設立・運営

日本インパクト投資2号ファンド（はたらくファンド）の新生銀行グループ、みずほ銀行との共同設立

➤ ベンチャーファンドにおける社会的インパクト・マネジメント

ヘルスケア・ニューフロンティア・ファンドの出資先の社会的インパクト・マネジメント、インパクトレポート発行支援

2. インパクト投資プレーヤー支援（例）

➤ インパクト投資を専門とする金融機関への出資・協働

（株）プラス・ソーシャル・インベストメントへの出資・協働

3. インパクト投資市場環境の整備（例）

➤ GSG（Global Steering Group for Impact Investment）*の国内諮問委員会の運営

➤ 調査研究：日本におけるインパクト投資の現状調査

➤ 政策提言：G20、PFS／SIBなど

1. SIIFのご紹介
- 2. インパクト投資とは**
3. インパクト投資の海外動向
4. インパクト投資の国内動向
5. 社会的インパクト評価の動向
6. 本勉強会での論点の候補（SIIF私案）

① フィランソロピーセクターから (財団など)

より革新的かつ持続的な社会課題解決を促進する手法として、ビジネスリーダーが設立した財団を中心にインパクト投資の活用が拡大

② フィナンシャルセクターから (金融機関など)

2008年のリーマンショック等の反省を経て、金融機関の意義追及、社会課題解決も追求する新しい投資機会としてインパクト投資への取組みを本格化

インパクト投資

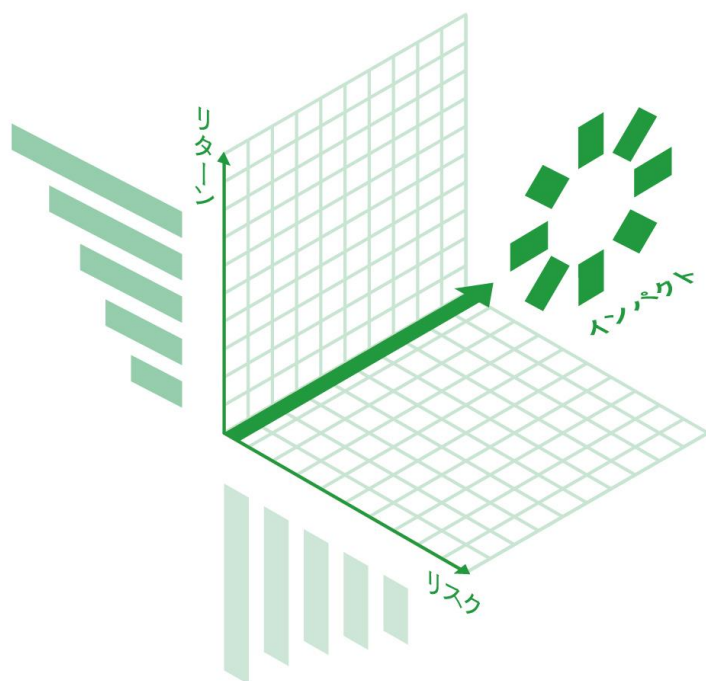
④ 政府セクターから

(開発金融機関、国際機関など)
財政拡大が望めない中、より革新的かつ持続的な手法として、民間資本導入のための手段としてインパクト投資への取組みを本格化

③ ビジネスセクターから

(事業会社など)
消費者の価値観の変容やSociety5.0などを受け、新しい事業機会・SDGsへの貢献手法としてインパクト投資への取組みを本格化

- ・ 財務的リターンと並行して、ポジティブで測定可能な社会的および環境的インパクトを同時に生み出すことを意図する投資です。
- ・ 投資判断は、リスク・リターン・インパクトの三次元評価に基づきます。



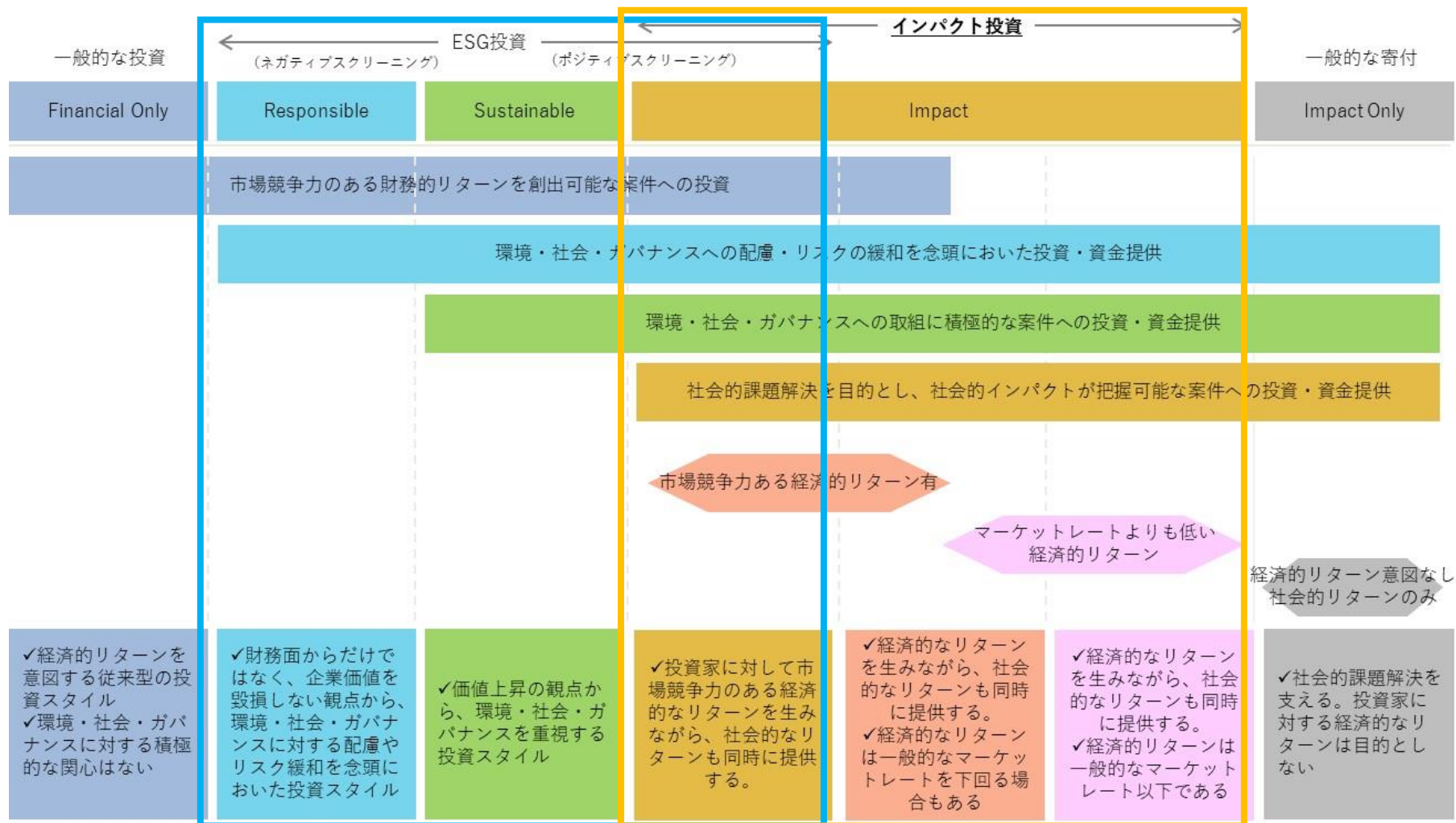
上図出典:UBS “Doing well by doing good”2016を基に作成

インパクト投資の4要素

1. Intentionality
(意図があること)
2. Financial Returns
(財務的リターンを目指すこと)
3. Range of asset classes
(広範なアセットクラスを含むこと)
4. Impact Measurement
(社会的インパクト評価を行うこと)

出所：SIIFアニュアルレポート2018 (http://www.siif.or.jp/wp-content/uploads/2019/07/SIIF_annual_report_2018.pdf)
GIIN 2019 “Core Characteristics of Impact5 Investing” (<https://thegiin.org/characteristics>)

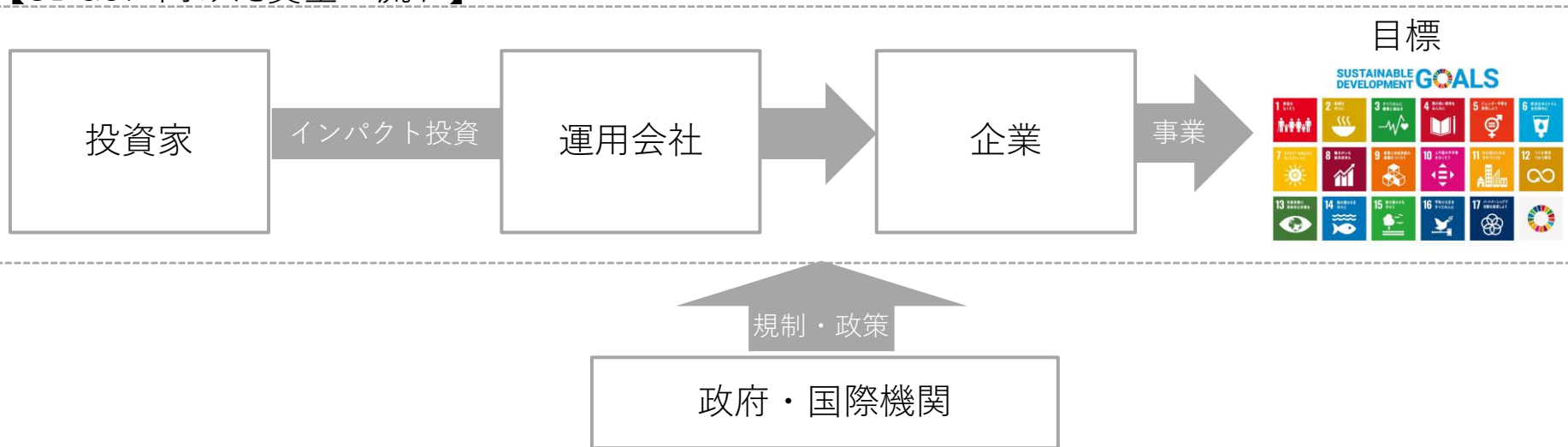
ESG投資は長期的なリスクの削減と収益の最大化を目指す（二次元）が、インパクト投資は**特定の社会課題解決を目的とするという明確な意図**を持つ（三次元）。



SDGs達成には、ESG投資だけでは不十分で、インパクト投資が大きく貢献し得ると期待されている。

- 1) **目標としてのSDGs**：インパクトを評価する世界共通フレームワークとしての活用が進んでいる。主な5ゴールの達成には2.6兆ドルが不足*する試算。政府や国際機関は民間資本の活用を促進。
- 2) **SDGsによる事業機会**：SDGs関連ビジネス領域で年間約12兆ドルの経済価値があると試算。既存事業をSDGsに関連づけるだけでなく、社会環境課題の解決に貢献する新たな事業の創出・拡大が必要。
- 3) **SDGsによる投資機会**：個人投資家はミレニアル世代を中心にインパクト志向性が強まっており、機関投資家は新しい投資機会の発掘を求めている。社会環境課題の解決に資する新たな事業に対して、そのインパクトの拡大に貢献する金融商品が求められている。

【SDGsに向けた資金の流れ】



*出所：IFC “Creating Impact - The Promise of Impact Investing” 2019

(https://www.ifc.org/wps/wcm/connect/publications_ext_content/ifc_external_publication_site/publications_listing_page/promise-of-impact-investing)

図はSIIF作成

1. SIIFのご紹介
2. インパクト投資とは
- 3. インパクト投資の海外動向**
4. インパクト投資の国内動向
5. 社会的インパクト評価の動向
6. 本勉強会での論点の候補（SIIF私案）

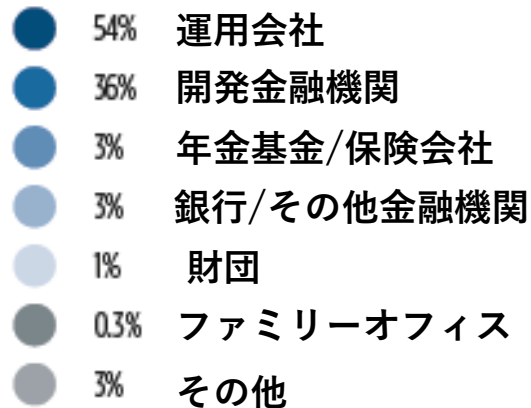
- インパクト投資の市場規模は推定 **7,150億ドル（約75兆円）**（2019年末 GIIN）
- インパクト投資残高の**54%は運用会社が保有**。多くのインパクト投資家が運用会社を利用している。

【機関別インパクト投資残高の保有割合＊（2019年末）】

Figure C: AUM by organization type

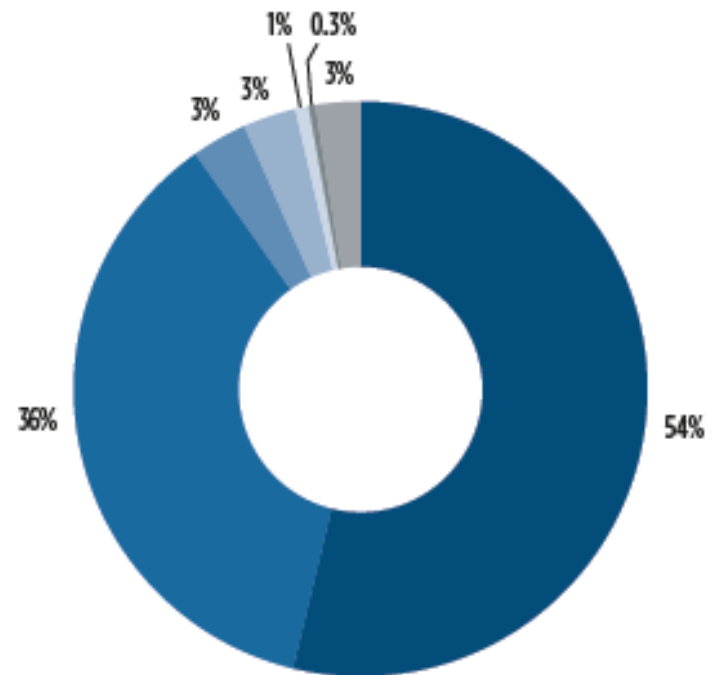
n = 1,728. Figures represent direct investments only, as of the end of 2019.

Percent of respondents



Note: Total AUM represented is USD 621 billion, which is based on the database AUM before estimating for organizations not included in the database. (See the methodology on the following page for details).
‘Other’ includes corporations, community development finance institutions (CDFIs), and non-governmental organizations.

Source: GIIN



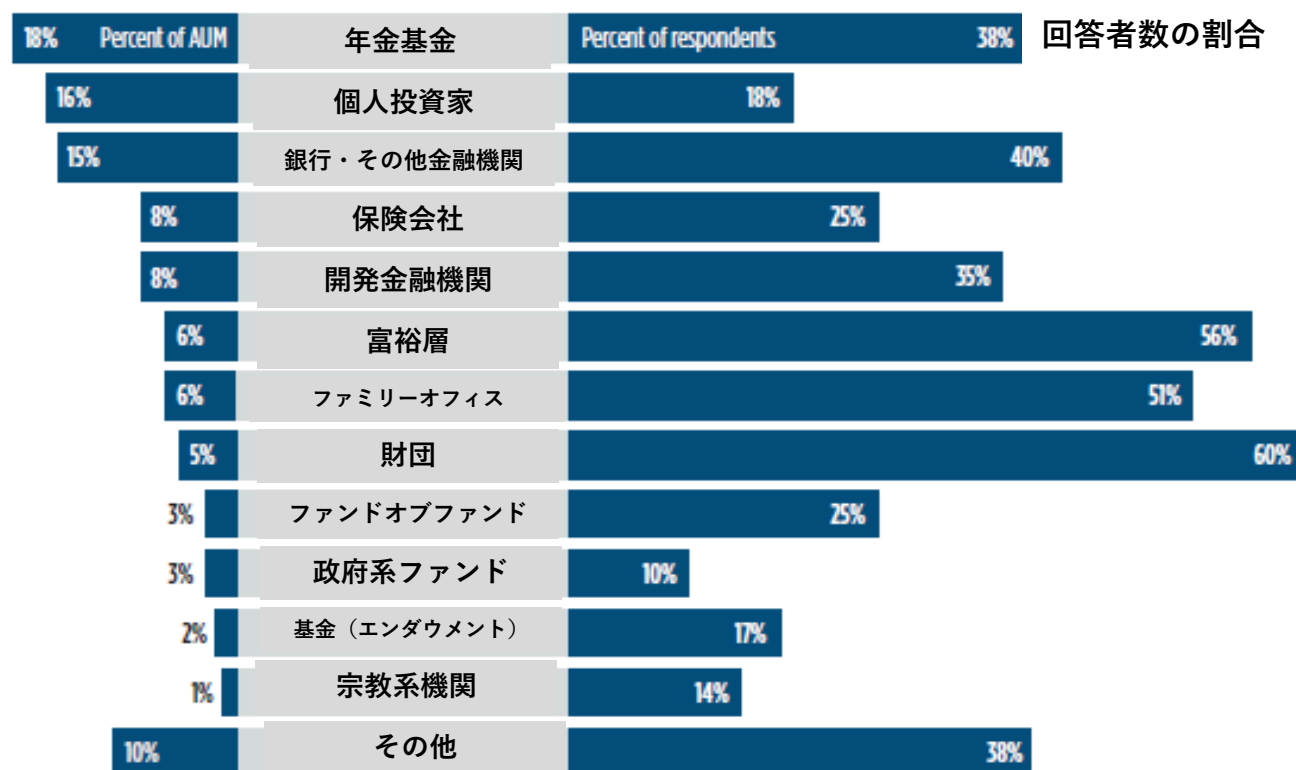
出所：GIIN “GIIN Annual Impact Investor Survey 2020 <https://thegiin.org/research/publication/impinv-survey-2020>)

GIINは、インパクト投資の普及のために設立された非営利組織

- 運用会社は、インパクト投資残高の**18%**を年金基金、**16%**を個人投資家、**15%**を銀行・その他金融機関、**8%**を保険会社から運用委託されている。
- 機関投資家、個人投資家ともに運用会社を通じたインパクト投資への参画が見られる。

【各投資家タイプの運用委託額と委託されている運用会社の割合（2019年末）】

運用資産額の割合



Note: 'Other' sources of capital include government funding, corporations, other institutional investors, labor funds, investment consultancies, universities, and non-profit organizations. Several respondents were unable to provide a break-down that aligns with these sources of capital; these responses have also been captured in 'other.'

Source: GIIN, 2020 Annual Impact Investor Survey

出所：GIIN “GIIN Annual Impact Investor Survey 2020 <https://thegiin.org/research/publication/impinv-survey-2020>)

Copyright© 2020 SIIF All Rights Reserved.

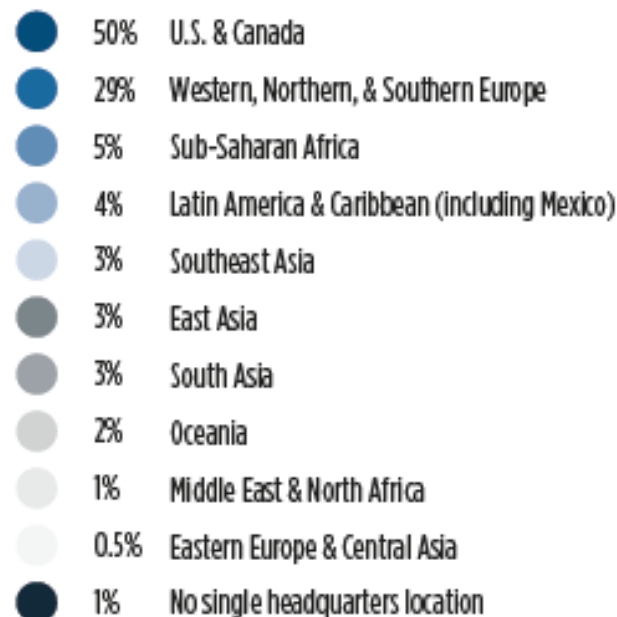
取組み組織のうち約5割が北米、約3割が欧州（計8割）に本拠地を置く。

【インパクト投資に取り組む組織の本拠所在地（2019年末）】

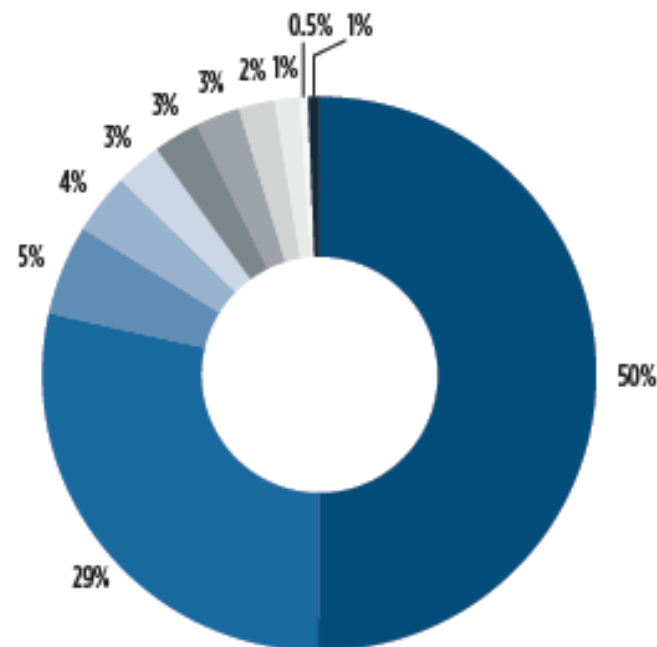
Figure B: Organizations' headquarters location

n = 1,419; excludes organizations for which headquarters location was unknown.

Percent of respondents



Source: GIIN

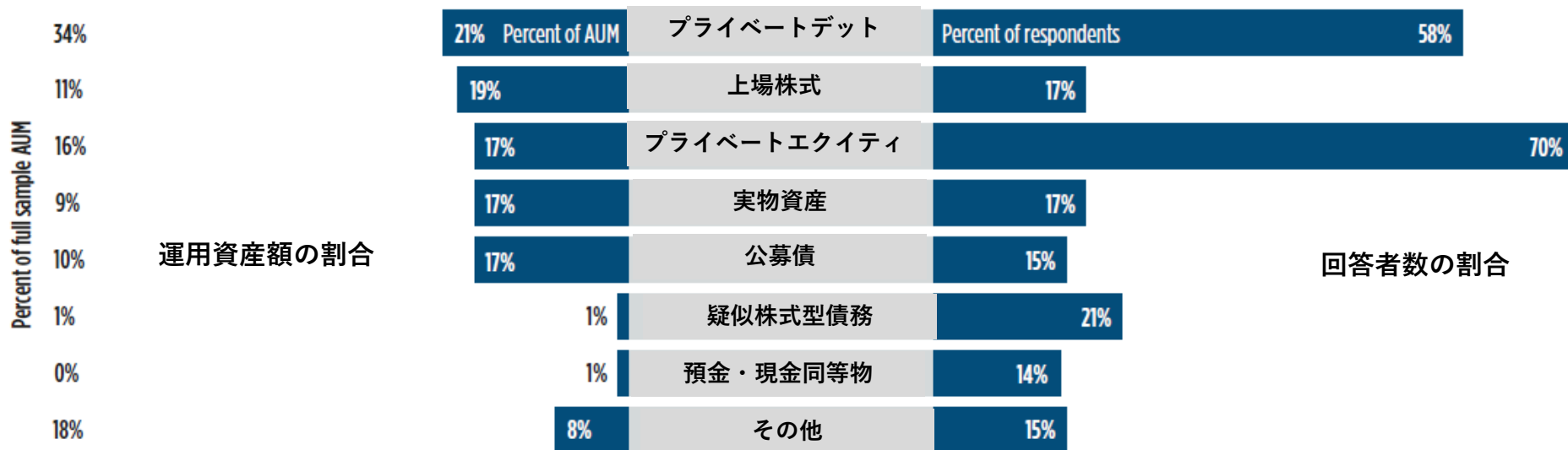


- 投資先は**非上場企業が中心**で、プライベート・デット（21％）、プライベート・エクイティ（17％）を合わせると約4割。
- 近年、**上場企業への投融資が増加傾向**にあり、その割合は上場株式（19％）、公募債（17％）となっている。

【投資手法の割合】

Left side—Percent of AUM excluding outliers; n = 289; AUM = USD 221 billion.

Right side – Percent of respondents with any allocation to each asset class; n = 294; respondents may allocate to multiple asset classes.



Note: 'Other' includes guarantees, mezzanine financing, and social outcomes contracts.

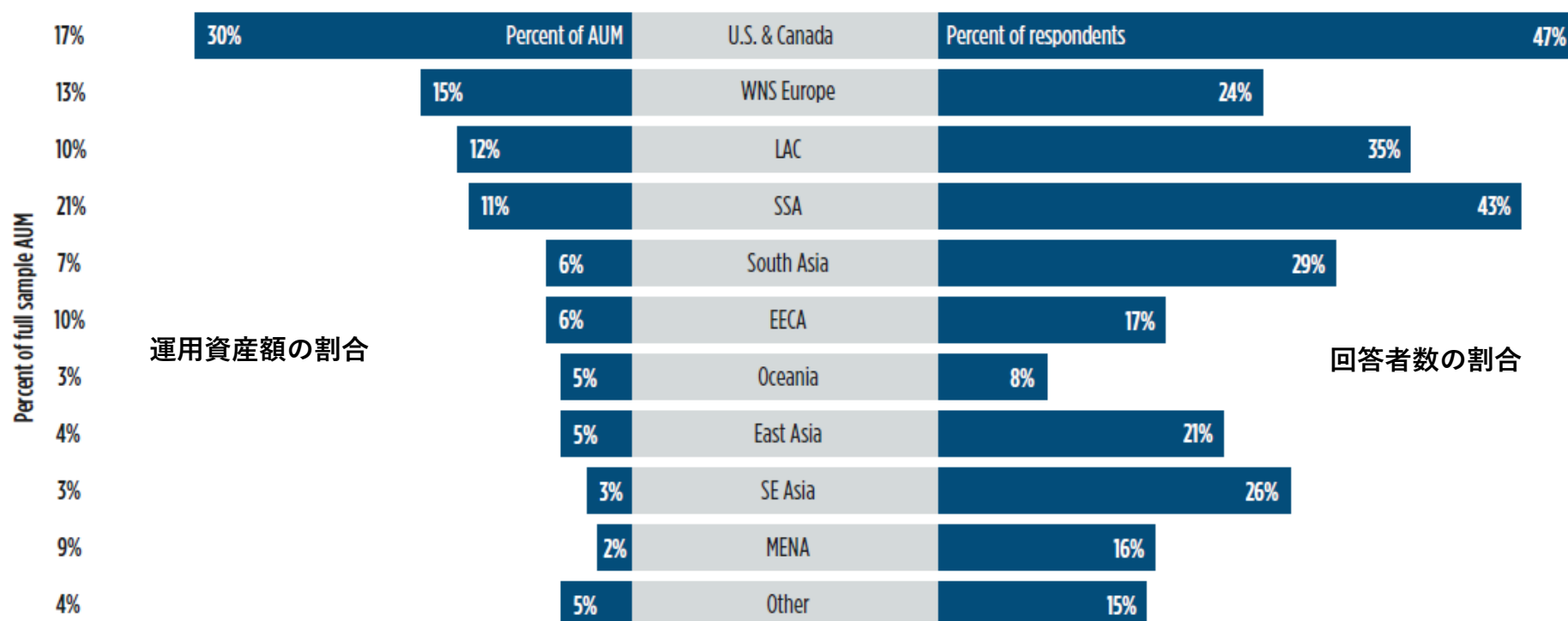
Source: GIIN, 2020 Annual Impact Investor Survey

- 投資先地域は広く分散しており、先進国と途上国でほぼ50%ずつ。
- 最大の投資先は、運用資産総額ベースで米国・カナダ（30%）。

【投資先地域の割合】

Left side—Percent of AUM excluding outliers; n = 289; AUM = USD 221 billion.

Right side – Percent of respondents with any allocation to each geography; n = 294; respondents may allocate to multiple geographies.

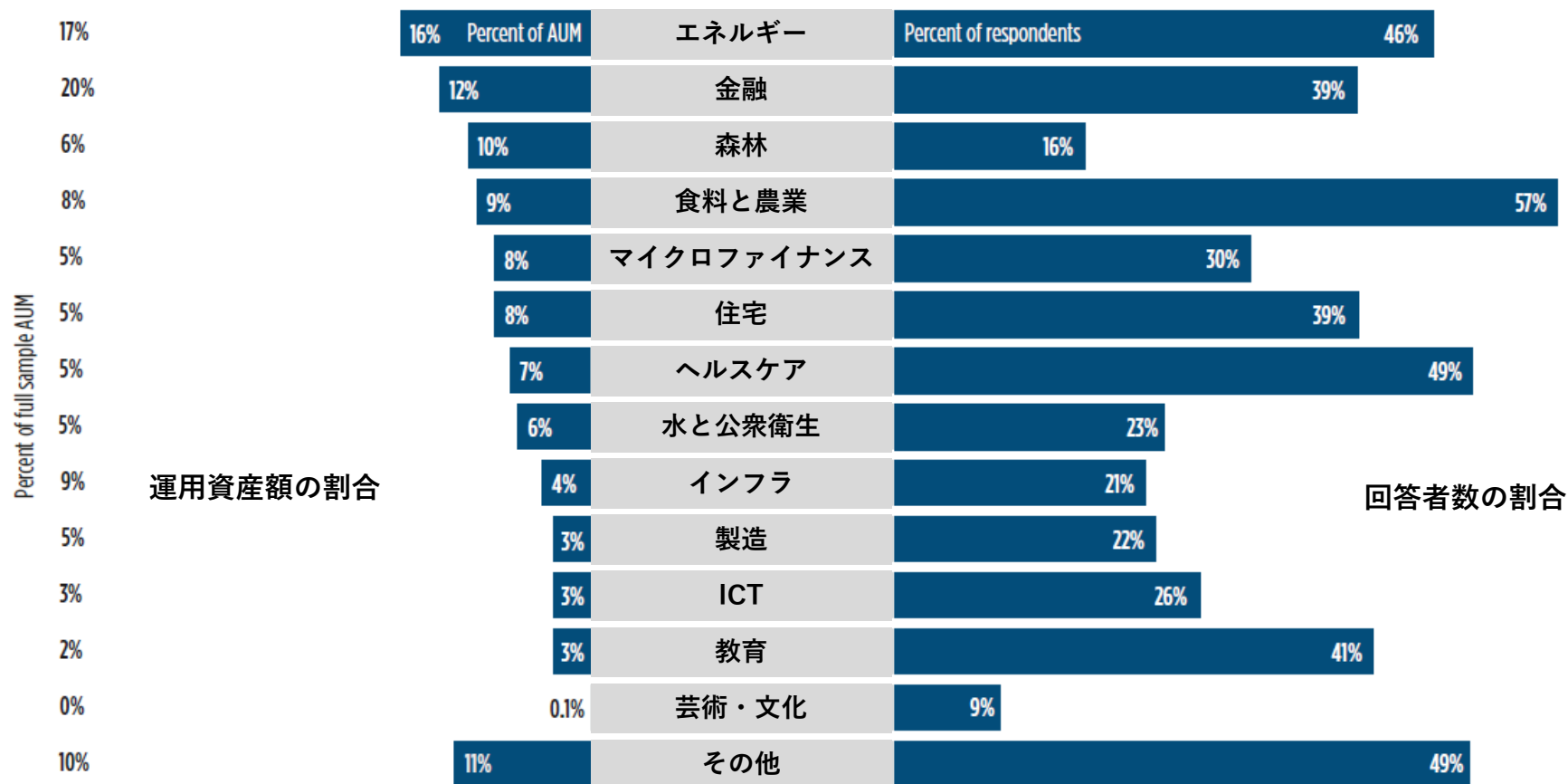


Note: 'Other' includes investments allocated globally.

Source: GIIN, 2020 Annual Impact Investor Survey

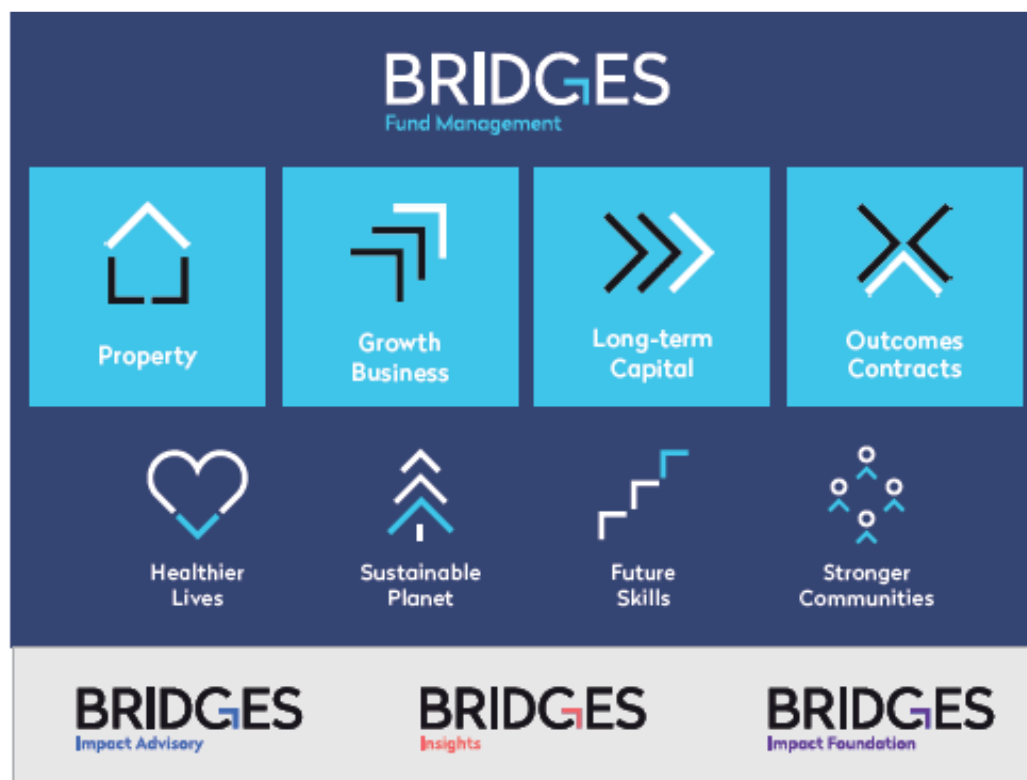
エネルギー、金融（マイクロファイナンス以外）、森林、食料と農業などへの投資が多い。

【投資先分野】



Note: 'Other' includes investments that did not align to these sector categories such as real estate, tourism, community development, retail, and sector agnostic investments.

- 2002年に英国で設立された、インパクト投資運用会社としての先駆者。
- 財務的リターンと社会環境インパクトの創出の両立を追求し、実績も多数持つ。
- 設立時から、**年金、銀行、その他金融機関から10億ポンド（約1,330億円）**を運用委託されている。



【事例】 Bridges Funds Management：各ファンドの概要

4つの投資戦略のもと、投資手法や期待リターン等が異なるファンドを組成し、ポートフォリオを管理している。

ファンド名	Bridges Sustainable Growth Fund I - IV	Bridges Property Funds I - II	Bridges Evergreen Holdings	Social Outcomes Fund I - II
運用額	£ 321m (426億円)	£ 508m (675億円)	£ 51m (68億円)	£ 57m (75億円)
投資手法	非上場株式 過半数、経営参画	不動産	非上場株式、私募債 長期保有	ソーシャル・インパクト・ボンド（成果連動型支払契約）
投資先	事業モデルにインパクト拡大が組み込まれているグロースステージの非上場企業 <ul style="list-style-type: none"> 41社 健康的な学校給食のケータリング等 	社会環境課題解決に資する不動産 <ul style="list-style-type: none"> 50件 低所得地域の中小企業向けシェアオフィス、健康、教育施設等 	社会環境課題の解決を主目的とする組織 <ul style="list-style-type: none"> 4社 安価で良質な介護施設を運営する従業員所有会社等 	社会福祉事業 <ul style="list-style-type: none"> 30事業 慢性疾患（糖尿病等）患者向け健康改善アプリ等
エグジット	売却（M&A、IPO） <ul style="list-style-type: none"> 1-2号の一件当たりIRR12-216% 	売却	配当、貸付利子	行政による支払

- ここ十数年でインパクト投資市場は急速に拡大し、多様化すると共に、「インパクト・ウォッシング」といわれる名ばかりの取組み増加への懸念が高まっている。
- インパクト投資の健全な発展を推進するため、原則や要件等の明確化の動きが進んでいる。

【インパクト投資の主な国際的原則の例】

インパクト投資の4つの中核的な特性 “Core Characteristics of Impact Investing”

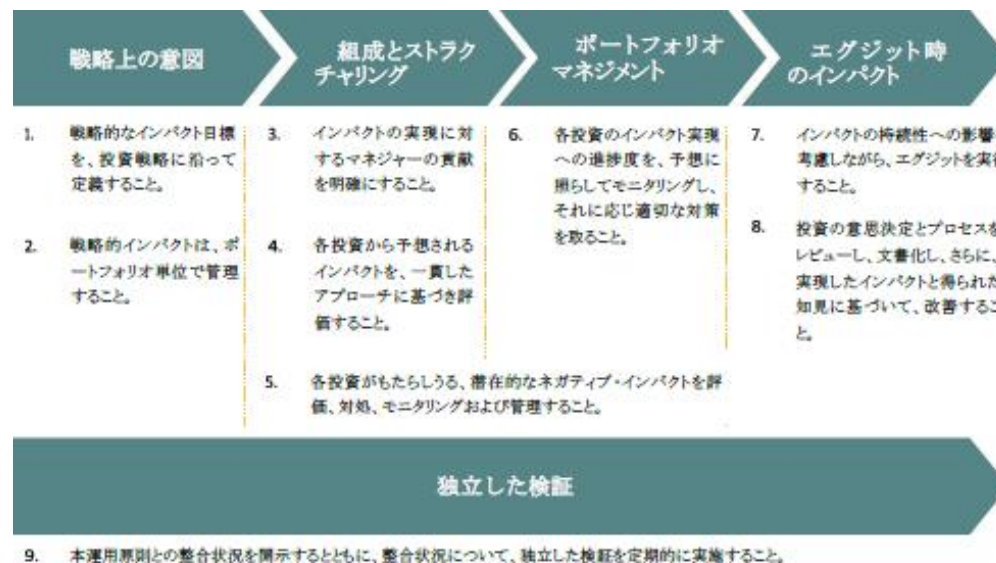
インパクト投資の運用原則＊ “Operating Principles for Impact Management”

✓ 明確な意図をもって、投資を通じて、財務的なリターンと並行し環境や社会にポジティブなインパクトをもたらすことに貢献していること
(Intentionally contribute to positive social and environmental impact through investment alongside a financial return)

✓ エビデンスやインパクトデータを活用して投資戦略を設計すること
(Use Evidence and Impact Data in Investment Design)

✓ インパクトパフォーマンスの把握を通じて投資をマネージしていること
(Manage Impact Performance)

✓ インパクト投資の発展に貢献していること
(Contribute to the Growth of Impact Investing)



出所：GIINウェブサイト（<https://thegiin.org/characteristics>）を元に
GSG国内諮問委員会「インパクト投資の拡大に向けた提言書2019」の和訳

出所：IFC「インパクトを追求する投資：インパクト投資の運用原則」（参考和訳）
＊2020年4月現在、94機関が署名している（<https://www.impactprinciples.org/signatories-reporting>）

- SDGsに関連した社会環境課題解決の加速化に貢献するインパクト投資を推進するため、ガイドライン・ツールや認証制度の開発が進んでいる。
- **SDGs Impact**は、UNDPが中心となり設立。ESG投資やインパクト投資の国際推進団体（PRI、GRI、UNEP FI、UN Global Compact、IMP、GSG、GIIN等）



Impact Management

*A means to better decisions
that drive investment capital
to where it is needed*

- ✓ Practice Assurance Standards
- ✓ SDG Impact Seal
- ✓ SDG Impact Training



Impact Intelligence

*Producing data and insights
needed for increasing
financial flows to the SDGs*

- ✓ SDG Investor Maps
- ✓ Dynamic searchable online
platform



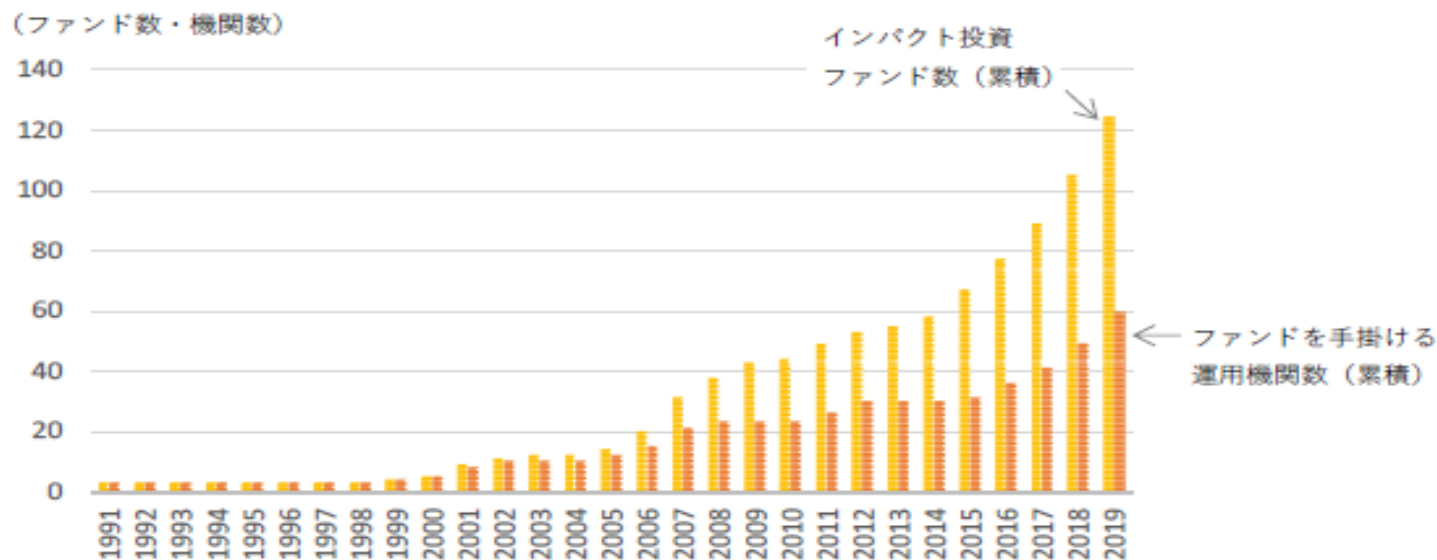
Impact Facilitation

*Fostering matchmaking
and collaboration to realize
investments*

- ✓ SDG Impact Investor
Convenings
- ✓ SDG Impact Policy Dialogues

- インパクト投資は、元々は未公開市場が活動の中心であったが、大手金融機関や機関投資家の参入と共に、上場株式投資におけるインパクト投資活動が急速に拡大している。
- 一方で、事業が多角化された大企業の社会的インパクト評価、インパクト創出に向けたエンゲージメントのあり方などの課題もあり、今後ベストプラクティスの蓄積が望まれている。

【上場株式におけるインパクト投資ファンド数・手掛ける運用機関数の推移（1991-2019年）】

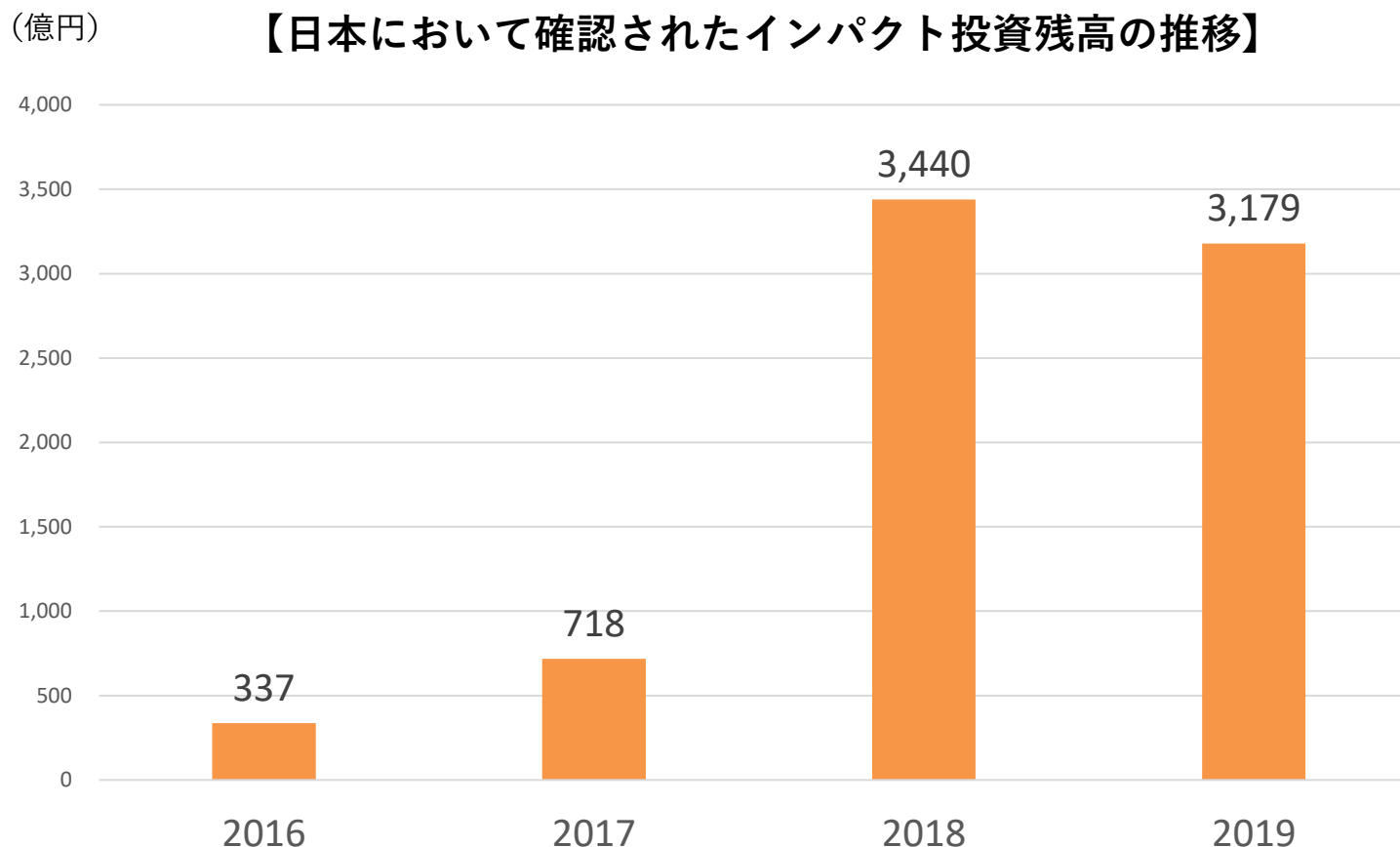


出所：Phenix Capital 社のデータベース「Global Impact Platform」<<https://www.globalimpactplatform.com/>>を基にしてニッセイアセットが作成

出所：ニッセイアセットマネジメント株式会社「上場株式投資におけるインパクト投資に関する調査」2020

1. SIIFのご紹介
2. インパクト投資とは
3. インパクト投資の海外動向
- 4. インパクト投資の国内動向**
5. 社会的インパクト評価の動向
6. 本勉強会での論点の候補（SIIF私案）

GSG国内諮問委員会による2019年度のアンケート調査の結果、日本におけるインパクト投資市場は、少なくとも3,179億円のインパクト投資残高があることが確認された。^{*}



出典：GSG国内諮問委員会「日本におけるインパクト投資の現状2019」

^{*} アンケート回答に基づき確認できたインパクト投資残高であるため、必ずしも日本におけるインパクト投資市場規模そのものの推計値ではない。

1. 新たな金融機関のインパクト投資への参入

- 日本におけるインパクト投資の顔ぶれは、資産運用会社、機関投資家、地域金融機関など新たにインパクト投資の実施を開始する金融機関が増えている。

2. インパクト投資の政策面における展開

- 2019年6月に開催されたG20大阪サミットの首脳宣言におよび安倍総理のスピーチにおいて、インパクト投資の重要性と日本がその国際的議論の先導に立つことが明言された。
- 2019年外務省の「SDGsの達成のための新たな資金を考える有識者懇談会」の会合発足でインパクト投資も含めた推進策が検討された。

<2019年6月>

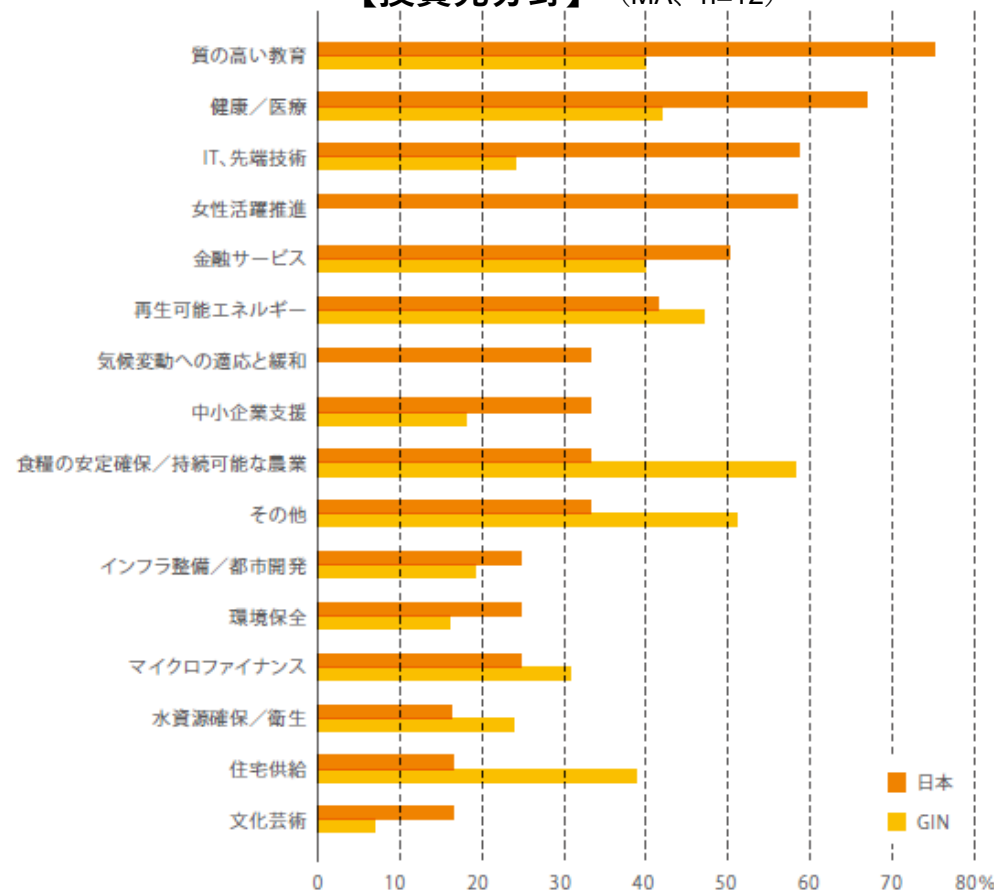
G20大阪サミット 第3セッション 安倍総理スピーチ

『日本は、地球規模課題の解決に必要な資金確保のため、**社会的インパクト投資**や、休眠預金を含む多様で革新的な資金調達の方法を検討し、国際的議論の先頭に立つ考えです。以上の諸点について、本年8月に日本で開催されるT I C A D 7（第7回アフリカ開発会議）、9月のSDGサミットや、UHCハイレベル会合を含め、様々なフォーラムで議論を重ねていきたいと思っております。』

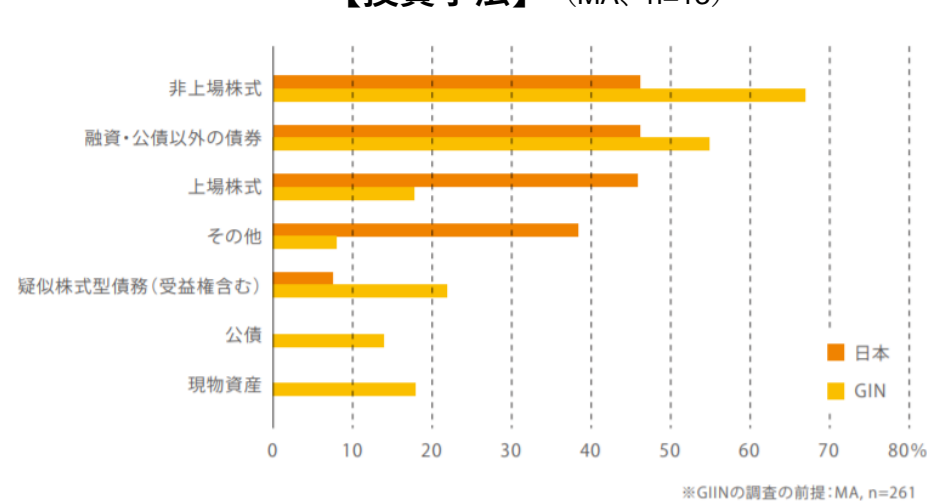
種類	組織名	インパクト投資の例（一部抜粋）
政府援助機関	独立行政法人国際協力機構(JICA)	マイクロファイナンス事業等への海外投融資
資産運用会社	アセットマネジメントOne（株）	Japan Equity Impact Investing
	三井住友トラスト・アセット・マネジメント（株）	日本株インパクト投資
	鎌倉投信（株）	公募投資信託「結い2101」での上場・非上場企業への投資
	野村アセットマネジメント（株）	野村ACI先進医療インパクト投資（上場株）
メガバンク	（株）みずほ銀行	広島県大腸がん検診受診率向上SIB、日本インパクト投資2号ファンド（はたらくファンド）
	（株）三井住友銀行	神戸市糖尿病性腎症等の重症化予防SIB
保険会社	第一生命保険（株）	SIB、社会課題解決を目指すベンチャー企業への出資、上場株、インパクト投資PEファンド
ベンチャーキャピタル	新生企業投資（株）	日本インパクト投資1号ファンド（子育て支援ファンド）、日本インパクト投資2号ファンド（はたらくファンド）
	（株）デジサーチアンドアドバイジング	八王子市大腸がん検診受診率向上SIB、エンジェル投資、シェアファンド等への投資
財団	社会変革推進財団（SIIF）	SIB、ヘルスケア系ベンチャーファンド、日本インパクト投資2号ファンド（はたらくファンド）
	笹川平和財団	Blue Orchard Micro Finance Fund、Japan ASEAN Women Empowerment Fund
インパクト投資専門の組織	一般財団法人KIBOW	ソーシャルビジネスを営む事業者への出資
	プラスソーシャルインベストメント株式会社	インパクト投資ファンドの組成・販売
その他	日立キャピタル株式会社	グリーンボンド
	南都リース株式会社	ナント地域活力創造サポート投資事業有限責任組合

- 投資先分野は、教育、健康・医療、IT・先端技術、女性活躍支援が多い。グローバルと比べ、農業や住宅供給などの新興国や先進国低所得者層向けの分野が少ない。
- 投資手法は、グローバルと共通で非上場の株式、債券が多い。グローバルと比べると上場株式の取組みが比較的多い。

【投資先分野】 (MA、n=12)



【投資手法】 (MA、n=13)

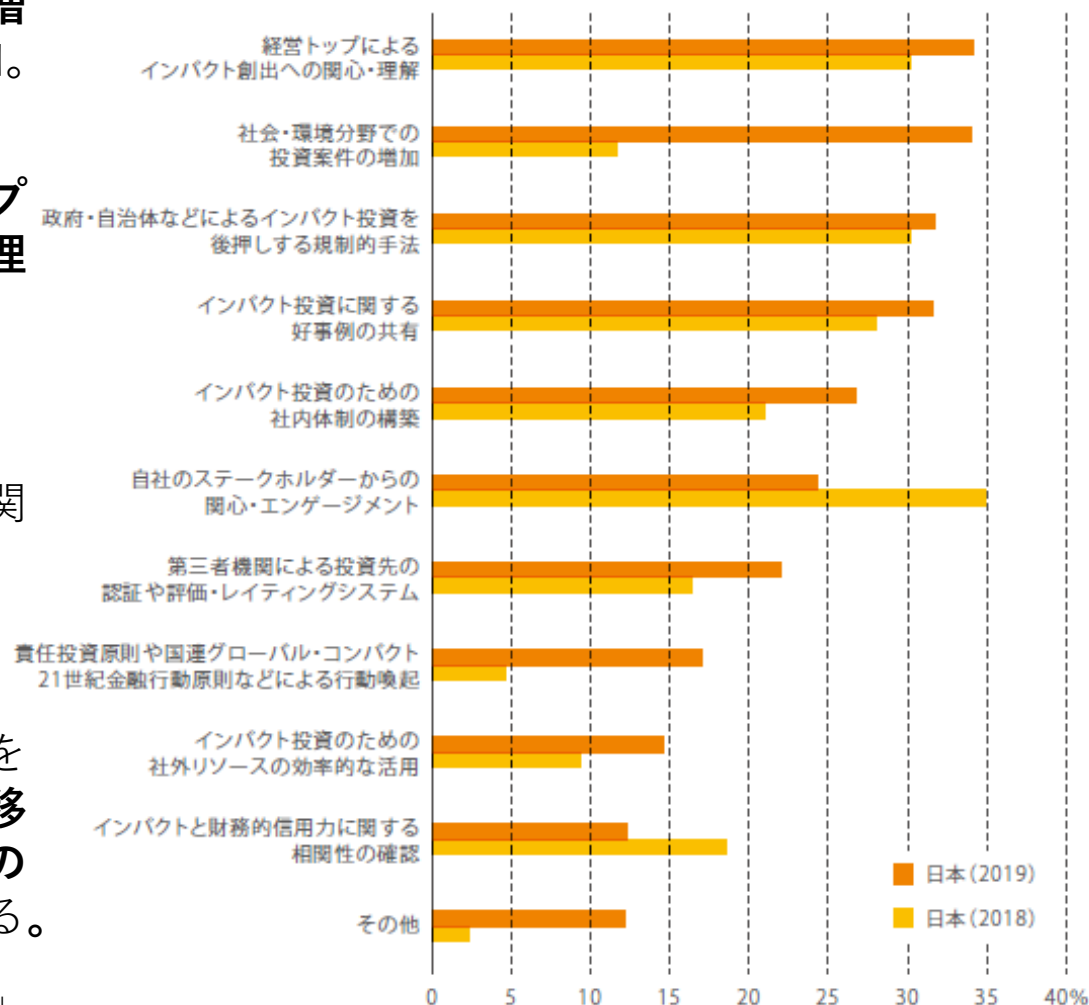


※GIINの調査の前提: MA, n=261

※GIINの調査の前提: MA, n=266

- 同調査で最も多く挙げられた条件は、「**社会・環境分野での投資案件の増加**」で、2018年度から大幅に増加。
- 同じく最多の条件は、「**経営トップによるインパクト創出への関心・理解**」。
- 一方で、2018年度に最も多かった「**自社のステークホルダーからの関心・エンゲージメント**」は、2019年度には大幅に減少。
- 一昨年度と比べ、インパクト投資を検討する段階から実行する段階に移行する中で、**具体的な投資案件へのニーズが高まっている**と考えられる。

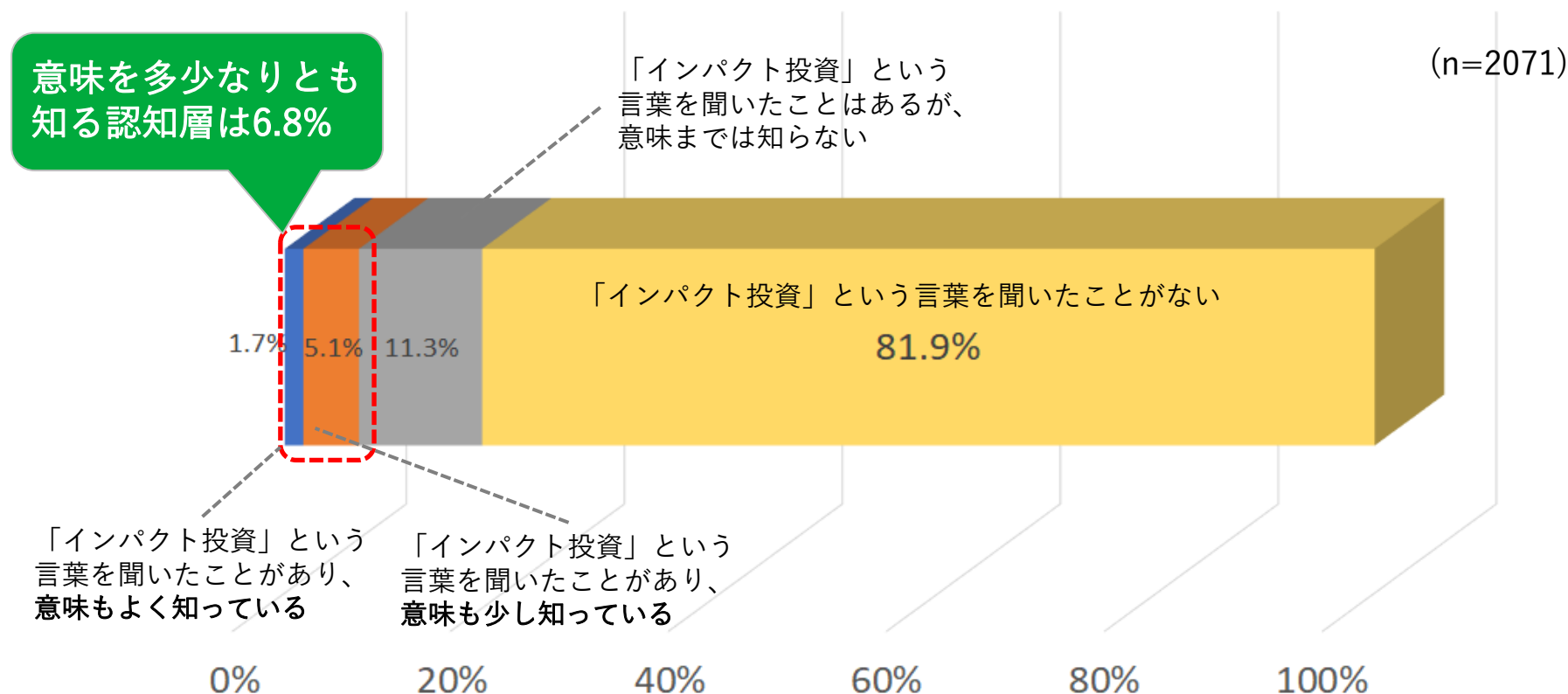
【インパクト投資を増やすための条件】
(MA、2018年度 n=41、2019年度 n=41)



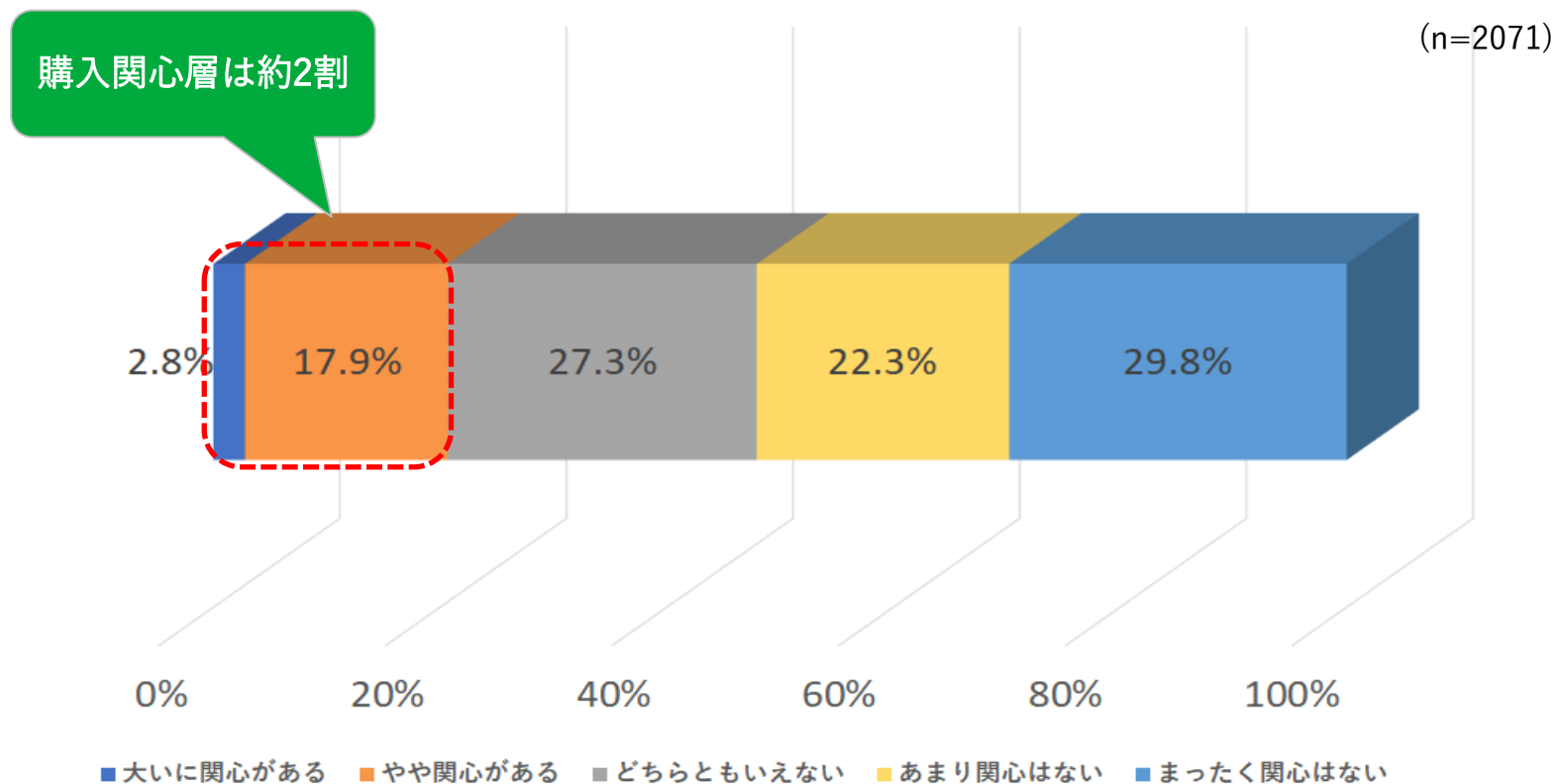
出典：GSG国内諮問委員会「日本におけるインパクト投資の現状2019」

- 「インパクト投資」という言葉を聞いたことがある人の割合は18.1%、意味を多少なりとも知っている人の割合は6.8%。（2019年8月）

※「SDGs」を聞いたことがある人が27.3%、意味を多少なりとも知っている人が18.0%。（2019年8月）



- 「大いに関心がある」、「やや関心がある」を合わせると、購入関心ある層は約2割。

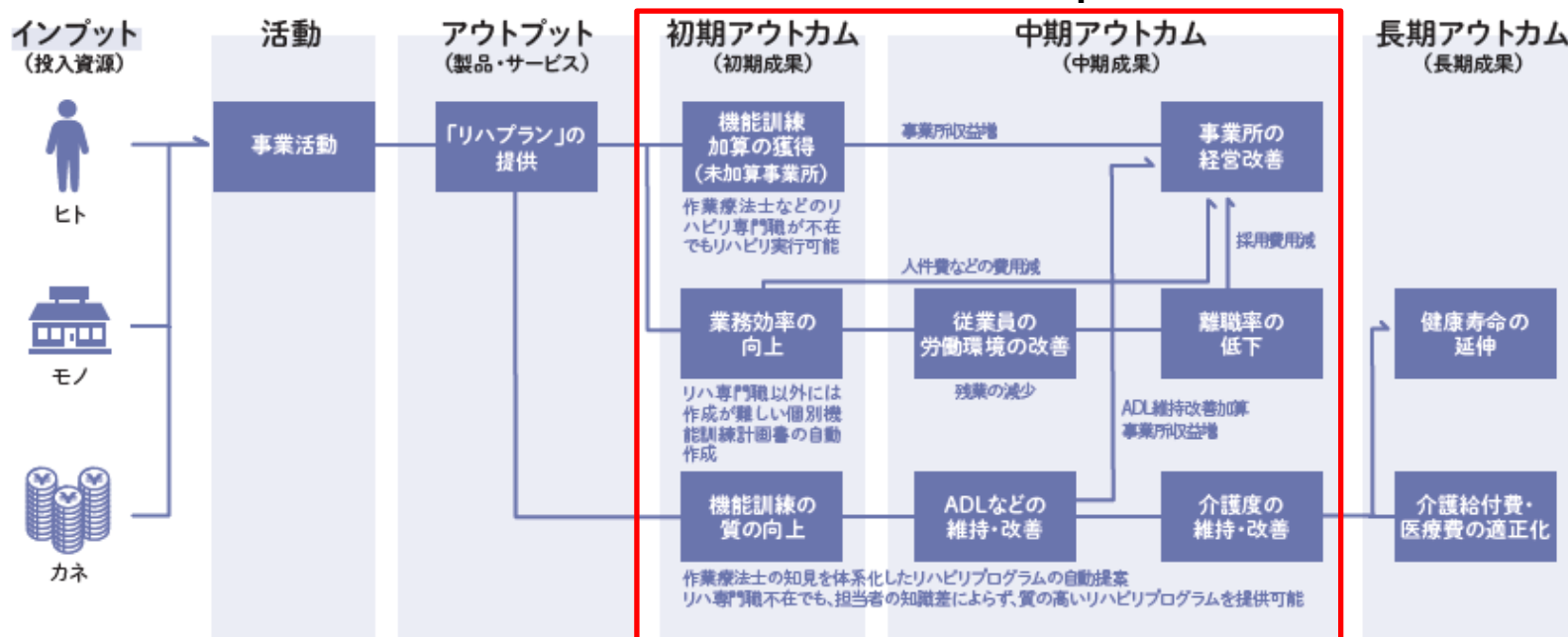


出所：SIIF「インパクト投資に関する一般消費者意識調査2019」（2019年8月）

1. SIIFのご紹介
2. インパクト投資とは
3. インパクト投資の海外動向
4. インパクト投資の国内動向
- 5. 社会的インパクト評価・マネジメント（IMM）の動向**
6. 本勉強会での論点の候補（SIIF私案）

- インパクトは「短期、長期の変化を含め、当該事業や活動の結果として生じた社会的、環境的なアウトカム」を指す。
- アウトプットは「組織や事業の活動がもたらす製品、サービスなど」、アウトカムは「組織や事業のアウトプットがもたらす変化、便益、学びその他効果」。インパクト投資では、アウトプットだけでなくアウトカムの変化を捉えることが重要。
- 「ロジックモデル」を使って、事業活動からアウトプットやアウトカムに至るまでの理論的な因果関係を図示する。

【ロジックモデルの例：Rehab for Japan社*】

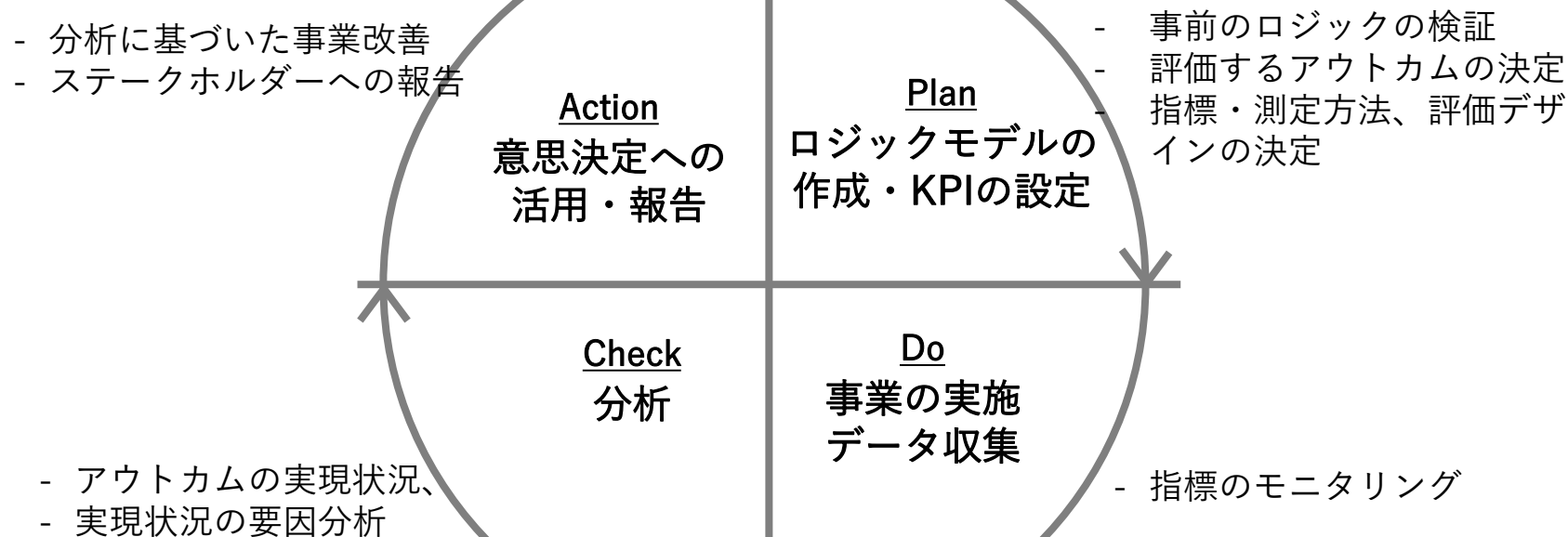


* デイサービスに勤務する機能訓練指導員のリハビリを支援する「リハプラン」を提供。

出所：内閣府「社会的インパクト評価の推進に向けてー社会的課題解決に向けた社会的インパクト評価の基本的がいねんと今後の対応策についてー」2016
ヘルスケア・ニューフロンティア・ファンド「インパクトレポート2018」

- 社会的インパクト評価とは、インパクトを定量的・定性的に把握し、事業や活動について価値判断を加えること
- 社会的インパクト・マネジメントとは、社会的インパクト評価を事業運営プロセスに組み込み、得られた情報をもとに事業改善や意思決定を行うことでインパクトの向上を目指すマネジメント

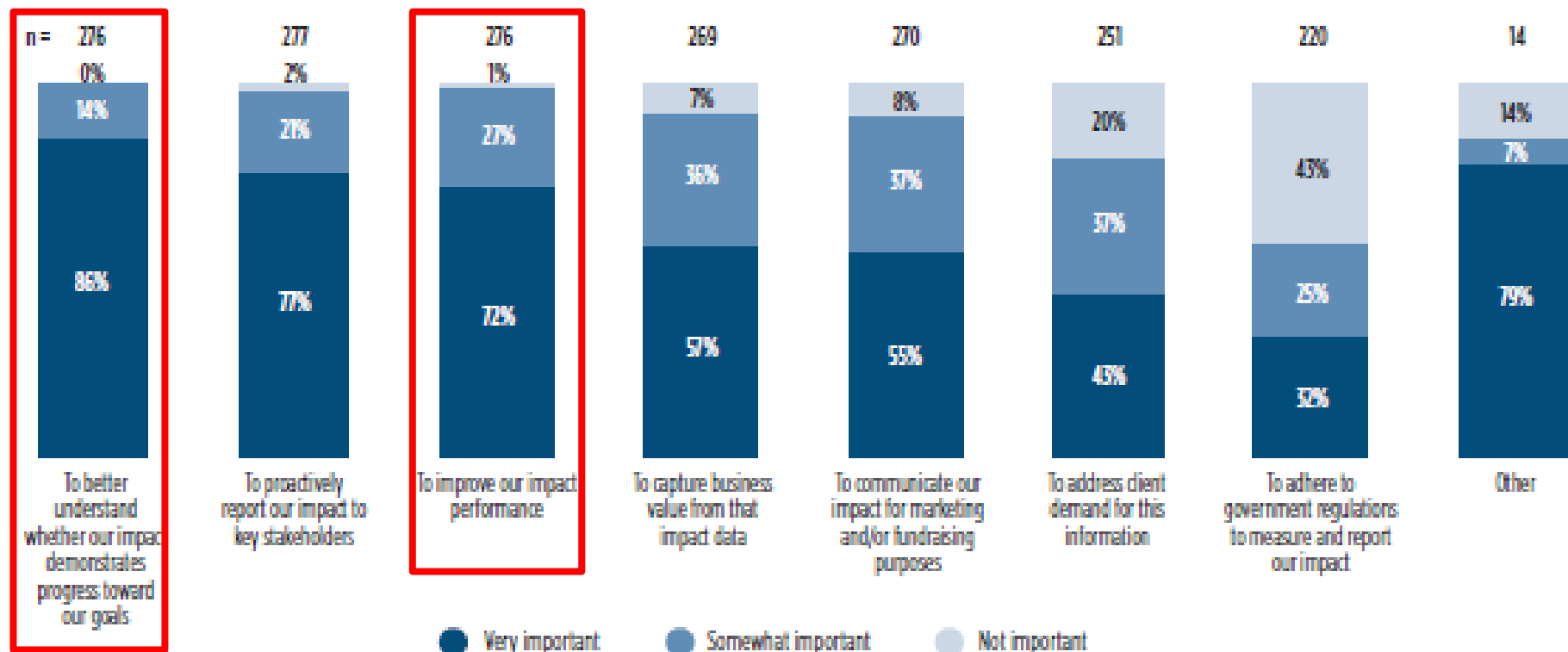
【事業運営プロセスにおける社会的インパクト・マネジメントのステップ】



- GIINの調査によれば、インパクト投資家の間では、社会的インパクト評価による目標達成状況の把握だけに留まらず、インパクトの向上に向けてマネジメントすることが重要だという共通認識ができています。

【インパクト投資家が社会的インパクト評価・マネジメント（IMM）を行う理由】

Number of respondents shown above each answer option. Those respondents who chose 'not sure/not applicable' have not been included.

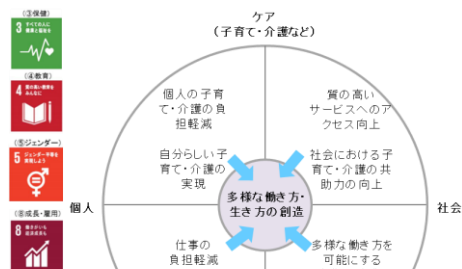
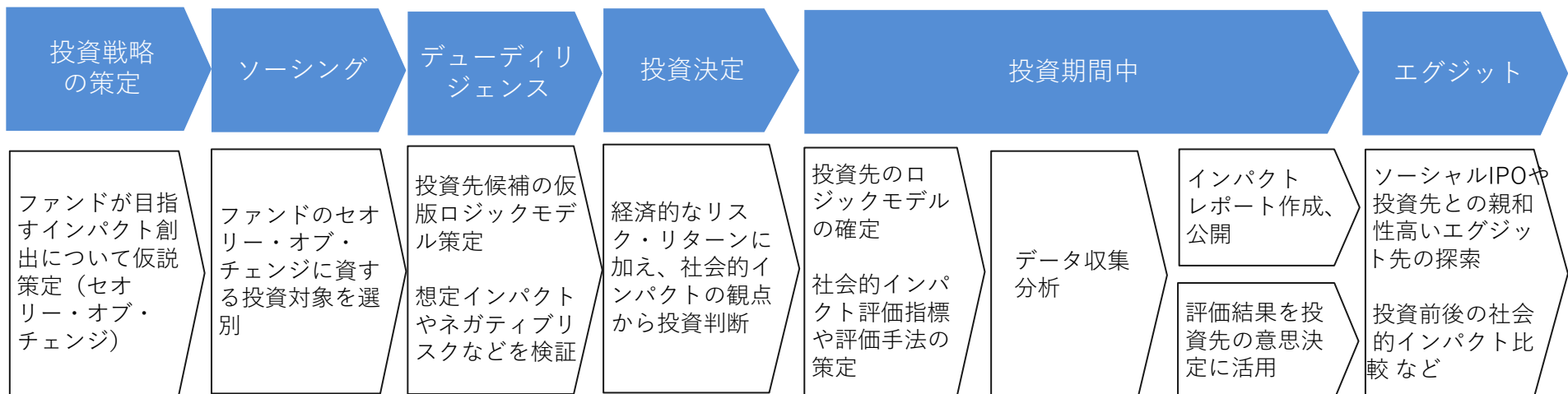


Note: 'Other' motivations include to adhere to certification schemes, to demonstrate the value of a dual mission, to gather data on impact progress, and to promote learning and awareness.

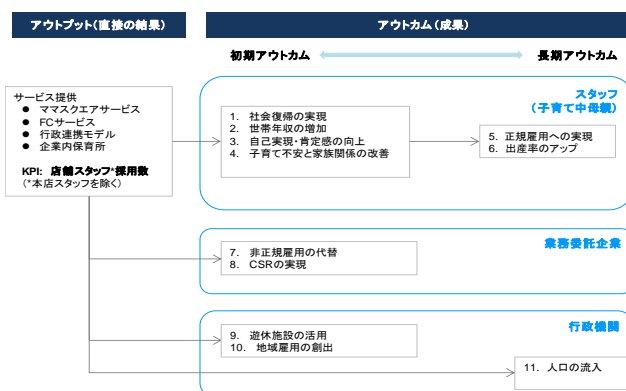
Source: GIIN, *The State of Impact Measurement and Management Practice, Second Edition*

投資戦略の策定からエグジットに至るまでの投資プロセスの一環として、社会的インパクト評価・マネジメントを組み込むことが必須になってきている。

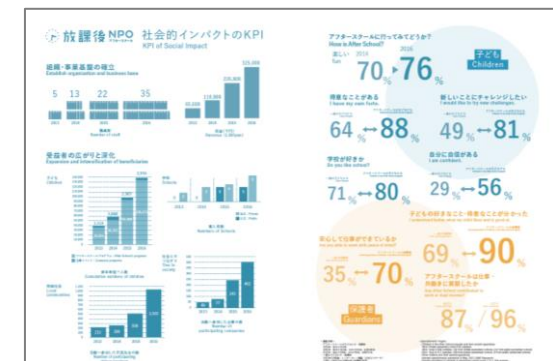
【投資プロセスにおける社会的インパクト評価の実施ステップ（はたらくファンドの例）】



（ファンドのセオリー・オブ・チェンジ）



（投資先のロジックモデルのイメージ）

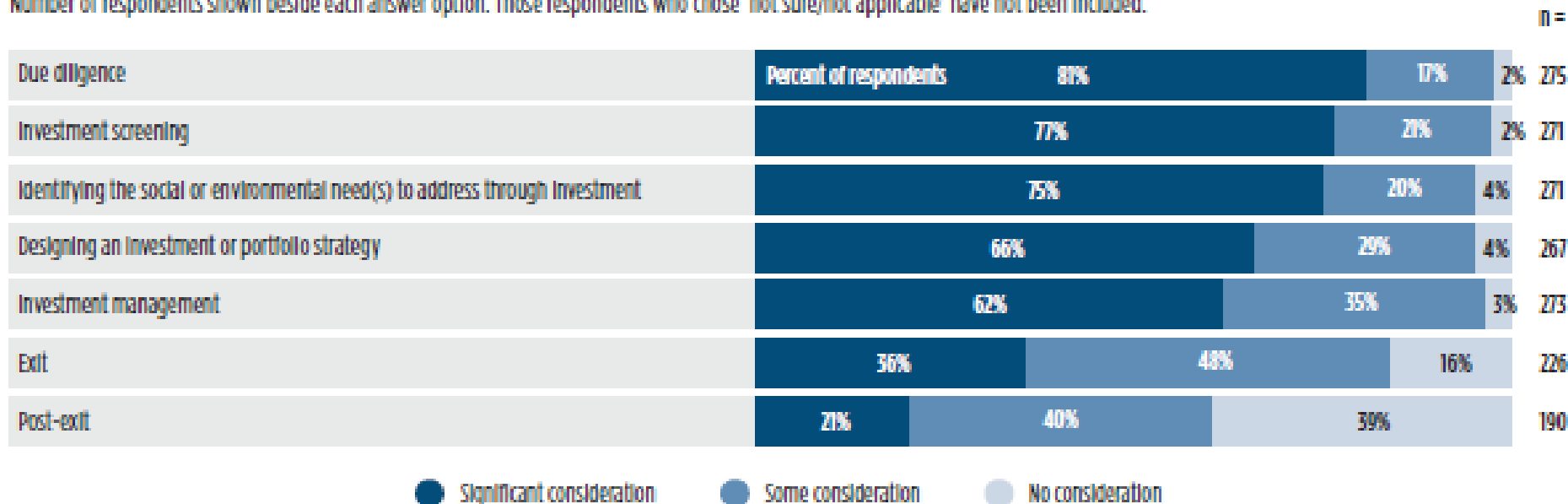


（社会的インパクトレポートのイメージ）

- 市場の発展と共に、IMMについて合意形成を図る段階から、投資プロセスにおけるIMMの組み入れを強化する段階に移行している。
- エグジットにおけるIMM実施例はまだ少ない。エグジット後における企業のミッション・ドリフト等のリスクが指摘される中、ベストプラクティスの蓄積が望まれる。

【各投資プロセスにおけるインパクト・データを考慮する度合い】

Number of respondents shown beside each answer option. Those respondents who chose 'not sure/not applicable' have not been included.

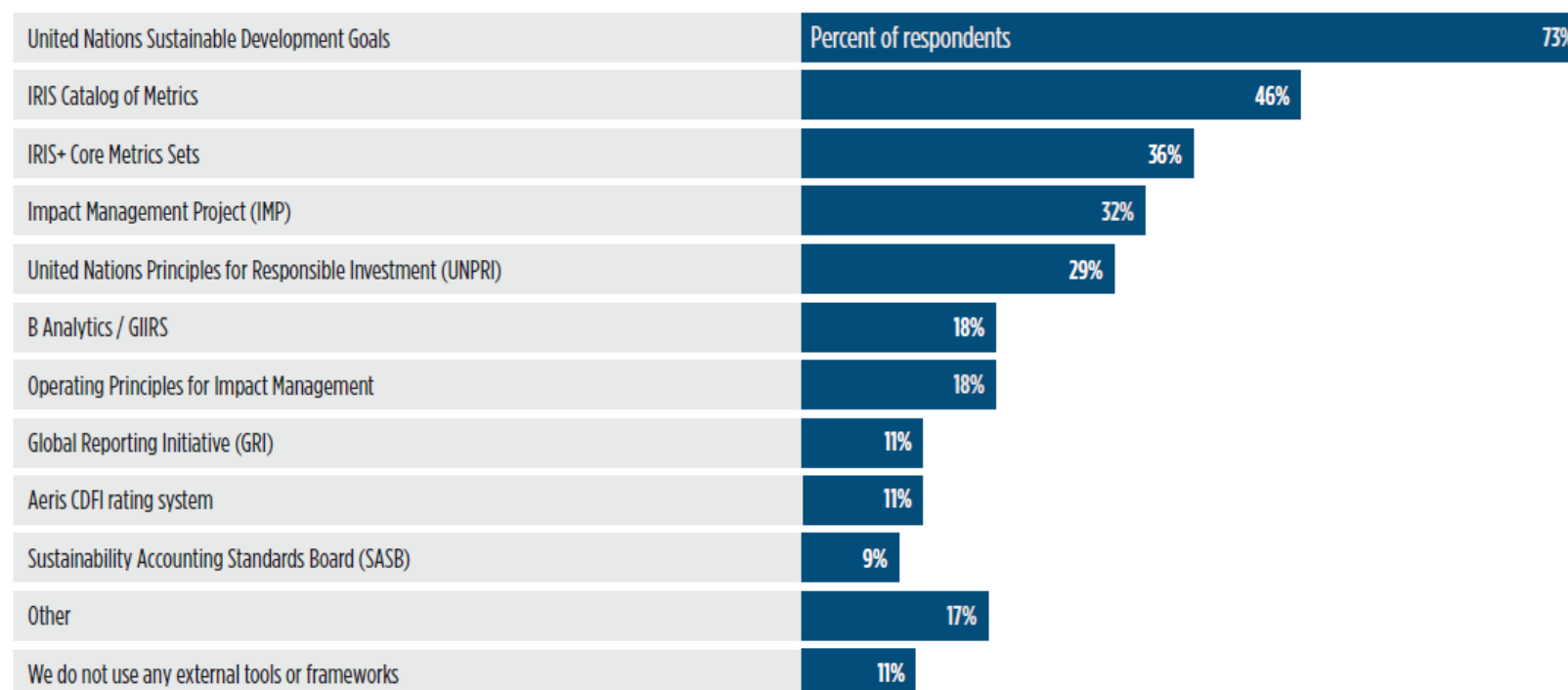


Source: GIIN, The State of Impact Measurement and Management Practice, Second Edition

ツールやフレームワークの活用状況

- 圧倒的多数（72%）のインパクト投資家がSDGsを活用している。次いで、「IRIS」と「IMP」。
- 多くのインパクト投資家は複数（平均3つ）のツールを併用している。
- 多くの投資家が、データの標準化や比較可能性を基準にツールを選んでいる。

【社会的インパクト評価・マネジメントにおいて使用されているツールやフレームワーク】



Note: 'Other' includes various external tools and frameworks, both broad and sector-specific, including the Impact Multiple of Money, CERISE-SPI4, SPI4-Alinus, GRESB, TruCost, HIPS0, Lean Data's 60 Decibels, Progress out of Poverty Index, GOGILA, IPAR, and MESIS. Some respondents also described general frameworks such as theory of change or logic frameworks as well as various proprietary measurement and management systems.

Source: GIIN, 2020 Annual Impact Investor Survey

- インパクトをいかに評価し、管理し、報告するかについて、グローバルな共通理解を醸成するためのフォーラム
- 2018年9月に、国連責任投資原則（PRI）・国際金融公社（IFC）・Global Steering Group for Impact Investment（GSG）等のESG投資やインパクト投資の国際推進団体、国際機関等により設立され、アドバイザーグループには、BlackRock、PGGM、UBS、みずほフィナンシャルグループ等の主要金融機関らが参画。2,000を超える団体が実務者コミュニティに参画。

IMPは、インパクトについて理解を深め、ステークホルダー間で認識を共有するため、「インパクトの5次元」という分析枠組みを提案している。

次元	各次元において検討される問い
What	<ul style="list-style-type: none">➤ 当該期間においてどのようなアウトカムが生じたか？➤ そのアウトカムは、それを体験する人々や地球にとってどの程度重要なものか？
Who	<ul style="list-style-type: none">➤ そのアウトカムを体験するのは誰か？➤ そのアウトカムに関係し、影響を受けるステークホルダーは、どのくらい不十分な（困難な）状況にあるか？
How much	<ul style="list-style-type: none">➤ そのアウトカムの大きさはどの程度か？ （影響が及んだ範囲、影響の深さ、影響が及んだ期間の長さのそれぞれについて）
Contribution	<ul style="list-style-type: none">➤ そのアウトカムに対する組織の貢献度合いは？ （仮に組織が何もしなかった場合に、どのような状態になっていたと考えられるかを説明付ける）
Risk	<ul style="list-style-type: none">➤ 人々や地球にとって、期待したインパクトが生じないリスクはどの程度か？

出所：IMP “What is impact?” <<https://impactmanagementproject.com/impact-management/what-is-impact/>>（ニッセイアセットが仮訳）
Copyright© 2020 SIIF All Rights Reserved.

- GIINが開発する「IRIS+」は、投資家が投資先の**事業評価**をする際に活用可能な指標カタログ。
- 2020年3月末時点で、インパクト・テーマやSDGsごとに594指標を掲載（開発中のテーマについては現在グローバル投資家や事業者の意見を集約して今後追加される）。



Impact Themes described in this document include the following:



Agriculture
Food Security
Smallholder Agriculture
Sustainable Agriculture



Air
Clean Air



Biodiversity & Ecosystems
Biodiversity & Ecosystem Conservation



Climate
Climate Mitigation
Climate Resilience and Adaptation



Diversity & Inclusion
Gender



Education
Access to Quality Education



Employment



Energy
Clean Energy
Energy Access
Energy Efficiency



Financial Services
Financial Inclusion



Health
Access to Quality Health Care
Nutrition



Land
Natural Resources Conservation
Sustainable Land Management
Sustainable Forestry



Oceans and Coastal Zones
Marine Resources Conservation & Management



Pollution
Pollution Prevention



Real Estate
Affordable Quality Housing
Green buildings



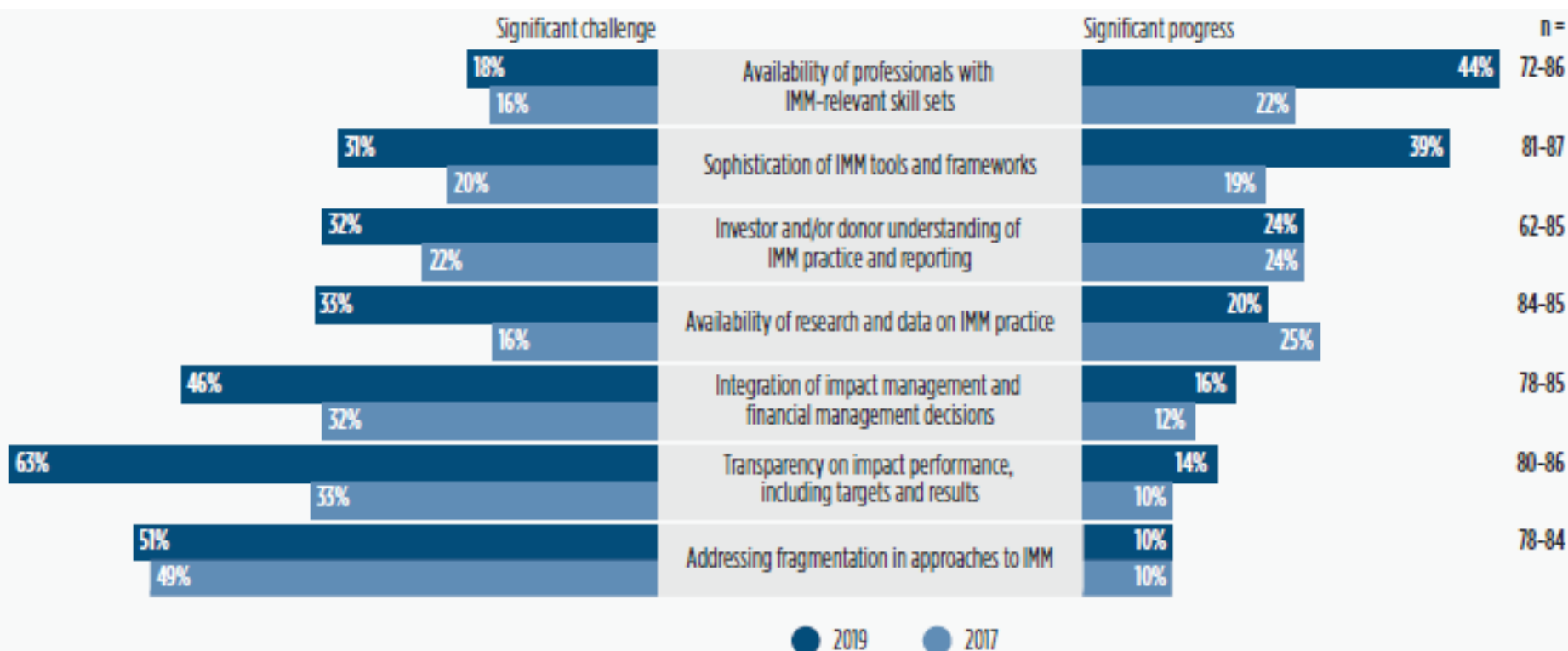
Waste
Waste Management



Water
Sustainable Water Resources Management
Water, Sanitation, and Hygiene (WASH)

- この2年間で進捗が大きかったのは、**IMM人材の活用**、**IMMツールやフレームワークの改善**。
- 一方で、重大な課題は、**インパクト実績に関する情報の不透明性**、**IMM手法の細分化**など。
- IMMはグローバルでもまさに発展途上。その確立を待つのではなく、**グローバルな基準作り**に参画することが肝要。

【社会的インパクト評価・マネジメントの課題と進捗の変化（2017-2019）】



Source: GIIN, The State of Impact Measurement and Management Practice, Second Edition

1. SIIFのご紹介
2. インパクト投資とは
3. インパクト投資の海外動向
4. インパクト投資の国内動向
5. 社会的インパクト評価
- 6. 本勉強会での論点の候補（SIIF私案）**

あらゆる投資家・金融機関が、すべてのアセットクラスにおいて、様々なアプローチを通じてインパクト投資に取り組み、インパクト投資がその多様性を育みながら金融のメインストリームの一つとなり、社会課題解決に向けて大きく貢献していくことの重要性が本勉強会で確認されること、その実践を推進するための前向きな議論がなされていくことを期待いたします。

【課題】

1. インパクト投資の目的と定義についていかに共通認識を醸成するか

真に社会課題解決に資するインパクト投資を推進するためには、インパクト投資の目的や定義についてある程度の共通認識が必要。

一方で、インパクトとリスク・リターンの関係性の捉え方ひとつについても多様なインパクト投資が存在。

2. インパクト投資での社会的インパクト評価はどうあるべきか

インパクト投資の発展には社会的インパクト評価の標準化や比較可能性が必要。一方で、多様な社会課題に対してイノベーティブな解決を促進するためには過度な標準化は弊害にもなり得る。

3. インパクト投資の推進するとすれば、何らかの制度・業界標準が必要か、それとも多様性が重要なのか

あらゆる投資家・金融機関が、すべてのアセットクラスにおいて、様々なアプローチを通じてインパクト投資に取り組み、インパクト投資がその多様性を育みながら金融のメインストリームの一つとなり、社会課題解決に向けて大きく貢献していくことの重要性が本勉強会で確認されること、その実践を推進するための前向きな議論がなされていくことを期待いたします。

【課題】

1. インパクト投資の目的と定義についていかに共通認識を醸成するか

真に社会課題解決に資するインパクト投資を推進するためには、インパクト投資の目的や定義についてある程度の共通認識が必要。

一方で、インパクトとリスク・リターンの関係性の捉え方ひとつについても多様なインパクト投資が存在。

2. インパクト投資での社会的インパクト評価はどうあるべきか

インパクト投資の発展には社会的インパクト評価の標準化や比較可能性が必要。一方で、多様な社会課題に対してイノベーティブな解決を促進するためには過度な標準化は弊害にもなり得る。

3. インパクト投資の推進するとすれば、何らかの制度・業界標準が必要か、それとも多様性が重要なのか